〈具体的な事業内容案〉

○　一人一人の進路指導計画の立案

○　共同現場実習

○　作業学習の成果品の作品展

○　事業所訪問　等

※　平成八年度の具体的な事業実施内容は、表2のとおりである。

Ⅲ　各学校での実践

1　あぶくま養護学校の実践

「作品・製品展示会、合同職場・施設見学会をとおして」

本校は、「障害のある生徒の進路実現のために地域社会との連携をどう図るか。」を研究主題として、研究に取り組んでいる。

本校高等部は平成八年四月に開設され、現在生徒数は一、二年生のみ五十四名である。平成十年度には高等部最初の卒業生を出すこともあり、自分たちの進路を選択できるための支援を学校・家庭・地域が一体となって実現したいと考えている。

作品・製品展示会

この事業は、障害のある生徒が地域社会で生活していく上で、地域の人々に障害者の可能性を理解してもらうために計画したものである。

市内のスーパーマーケットに開催場所を提供していただき、本校以外に、「守山中学校」「安積中学校」「授産センター緑豊園」「花かつみ豊心園」「かたひら農場」「あぶくま養護学校安積分校」の児童生徒、障害者の方々から絵画、工作、手芸、作業学習製品等を展示した。

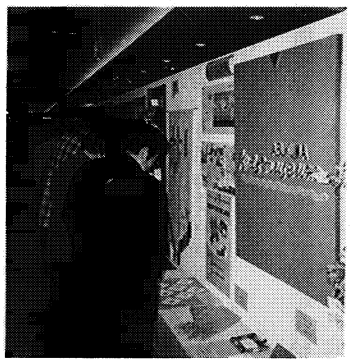
案内のポスターは、市内の企業や事業所、小・中・高等学校、専門学校、病院、公共施設等に依頼し掲示した。

さらに、当日二千部の作品・製品案内パンフレットを準備し、来場者に配付したが、またたく間になくなり、関心の高さを感じ取ることができた。

職場・施設見学会について

先輩達の働く姿に実際に触れることにより、今後行う現場実習に対する理解の一助とするため、本見学会を実施した。

本校中学部三年生と高等部一年生、協力校二校の三



作品・製品展示会

職場・施設見学を終えて

あぶくま養護学校

高一の一　O・N

最初に日立テレコムテクノロジーを見学しました。見たらパソコンを一人一台つかって電気製品を作るのかと思いました。そしてすごいなと思いました。電話のじゃわきなど作ったりしたのがすごいなと思っていました。パソコンを一人一台つかって電気製品を作ったり電話のじゃわきを作るのがすごいなと思いました。見たらはこおりをしたりはしいれをしたり野球のボールを作ったりしていました。すごいなと思っていました。豊心園では、空カンをつぶしたり、パチコン代をつわしたりしていました。それにはこおりにペンの組み立てをして生活をする所でした。豊心園では、ずっとときって生活をする所でした。すごかったです。

職場見学　守中　F・H

十一月八日に職場見学をしました。最初に日立テレコムテクノロジーに行って見学をしました。そして、会社のなかを、て話を聞いて中から会社の中を見学しました。パソコンを一人一台づつも、ていて仕事をしていました。私もパソコンで仕事をしてみたいなと思いました。次は、外に出て別な仕事場を見ました。電話を作、ているロボットもありました。休息時間が少ないので、大変だなと思いました。次は、緑豊園という所へ行きました。そこは、仕事を一生懸命していました。たとえば、薄皮まんじゅうの箱を作、ていました。外では、男の人達がいて、パチンコらを分解していました。その男の人達が少しこわか、たです。そして中に入、て、食堂に入、て休息しました。質問したり、お話を聞きながらお昼になて、バスでサンライフ郡山へ行き昼食を食べました。昼食がおわったら、バスに乗、てあぶくま養護学校に戻りました。何か職場見学があ、という間でした。そして私達守山中学校は、タクシーで帰りました。見学をして、仕事をする、て大変だなと思いました。でも楽しい事だとも思いました。来年は、私も就職する予定です。友人をたくさんつくり、楽しい生活をしたいです。